

産婦人科専門医育成プログラム

診療科名（部署名）	女性診療科・産科
医局ホームページアドレス	https://www.nmsobgyn.jp/recruit/
責任者指名	鈴木俊治
目標とする専門医資格	<p>日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医 日本周産期新生児医学会 周産期専門医（母体・胎児） 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医 日本産科婦人科内視鏡学会 内視鏡技術認定医 日本生殖医学会 生殖医療専門医 日本内視鏡外科学会 技術認定医、 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本超音波医学会 超音波専門医、 日本臨床細胞学会 細胞診専門医 日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医 日本不育症学会 不育症暫定認定医 その他</p>
PR文（250字以内）	<p>産婦人科学の扱う領域は、周産期、腫瘍、生殖、女性医学、内視鏡手術、遺伝など広範囲にわたり、専門医取得に際しては各分野に隔たりの無い総合的な知識・臨床能力が求められます。当科では、附属4病院と関連病院が連携し、高い専門性を有しつつ幅広い診療ユニットを実現しています。このユニット内で展開される切れ目のない研修プログラムにより産婦人科学全分野を網羅し、豊富な症例経験の下、ゆとりを持って専門医試験に臨む事が出来ます。</p> <p>専門医取得後は、総合的な臨床能力の錬成、サブスペシャリティの確立、大学院進学を含めた研究活動など、個々の希望と資質に応じた研修に対応します。</p>
付属病院での主要な疾患 (2020年度)	<p>子宮筋腫（ラパロ） 58件 開腹） 68件 卵巣嚢腫（ラパロ） 36件 開腹） 6件 子宮頸癌 10件 子宮体癌 18件（ダビンチ+5件） 合計 23件 卵巣癌 35件 子宮脱 43件 分娩 504件、帝王切開 231件 高度生殖医療採卵数 500件、不育症 300件</p>

主要な手術、手技

帝王切開術、内視鏡手術、子宮悪性腫瘍手術、卵巣悪性手術、体外受精胚移植

産婦人科学の扱う領域は周産期、腫瘍、生殖、女性医学、内視鏡手術、遺伝など広範囲にわたり、産婦人科専門医取得に際しては各分野に隔たりの無い総合的な知識・臨床能力が求められます。日本医科大学産婦人科学教室は、付属病院（千駄木）を基幹として、武蔵小杉病院，多摩永山病院，千葉北総病院、および複数の関連病院（東京かつしか赤十字母子医療センター，神奈川県立がんセンター、窪谷産婦人科、山口病院）との連携により、高い専門性を有しつつ幅広い診療ユニットを実現しています。日本医科大学では、このユニット内で展開される切れ目のない研修プログラムにより、各分野のエキスパートによる丁寧な研修指導を行っています。研修期間内に効率よく産婦人科学の全分野を網羅し、ゆとりを持って専門医試験に臨む事が出来る理想的なプログラムを提供しています。研修プログラムの内容は、日本医科大学産婦人科学教室ホームページ <https://www.nmsobgyn.jp/recruit/> でも紹介しています。

周産期分野)

付属病院では、各診療科と連携した合併症妊娠の管理センターに、基本的な妊娠分娩管理、高度救命救急センターや IVR センターと連携した母児救命の研修を行います。又、セミオープンシステム (NMS ネットワーク) の導入により地域周産期医療を担い、分娩件数は軒並み増加しております。NICU では早産や先天性心疾患の受け入れもしており、妊娠中から小児科や心臓外科と外来やカンファレンスなどで連携を取りながら、継続的な診断、治療に関わることができます。武蔵小杉病院には新生児内科・小児外科を擁する周産期・小児医療センターが設置されております。無痛分娩の取得も行うことができます。充実した医療体制の下、高次施設における周産期医療について研修を行います。多摩永山病院ではセミオープンシステム (母と子のネットワーク) を導入し、地域周産期医療の中核を担っています。豊富な症例をもとに、多様な周産期病態に対応する臨床力を養います。二年次以降には NICU 研修 (武蔵小杉病院，東京かつしか赤十字母子医療センター) や、周産期センター研修 (東京かつしか赤十字母子医療センター) も積極的に行っています。いずれの施設においても周産期専門医の指導の下、最新のエビデンスに基づいた指導を行います。武蔵小杉病院，多摩永山病院，東京かつしか赤十字母子医療センターは周産期専門医制度における基幹研修施設、付属病院は指定研修施設であり、将来的な高度専門医取得に対応しています。

婦人科腫瘍分野)

付属病院は、厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院に指定されており、婦人科腫瘍専門医の指導の下、病理部，放射線科，化学療法科と連携した治療方針の決定や、緩和ケア科，

がん相談支援センターと連携した患者支援など、がん診療全体についての幅広い研修を行います。婦人科悪性腫瘍の腹腔鏡下手術や各種機能温存手術についても研修する機会があります。千葉北総病院にも婦人科腫瘍専門医を擁しており、手術・抗がん剤・放射線治療を組合わせた診療に共に従事することで専門性の高い研修を行います。附属病院、千葉北総病院は婦人科腫瘍専門医修練施設に認定されており、都道府県がん診療連携拠点病院である神奈川県立がんセンターと連携し、将来的な婦人科腫瘍専門医取得に対応しています。

内視鏡手術分野)

当教室は全国でも屈指の内視鏡技術認定医を擁する産婦人科学教室です。附属病院、千葉北総病院では内視鏡技術認定医による指導の下、専門性の高い実践的な研修を行います。特に附属病院においては内視鏡専門チームによる系統的なトレーニングプログラムを導入しており、動物ラボにおける定期的な研修と合わせ、将来的な内視鏡技術認定医取得を前提としたハイレベルな技術指導を行います。

生殖医学分野)

新たに開設した附属病院の生殖医療専門エリアにおいて、生殖医療専門医の指導の下、排卵誘発や人工授精などの一般不妊症治療から、体外受精・胚移植法、顕微授精法、受精卵の凍結保存法などの高度生殖補助技術まで幅広く研修を行います。附属病院は生殖医療専門医制度における認定研修施設であり、将来的な高度専門医取得に対応しています。

女性医学分野)

以前は更年期症状を主なテーマとしていましたが、女性ホルモンに関連した疾患を中心に思春期から老年期まで幅広い年代の女性ヘルスケアを扱います。一般外来診療で役立つ知識。技術を研修することができ、最近特に需要が高まっている分野です。当院は附属4病院がすべて認定研修施設となっており、女性ヘルスケア専門医の下で指導を受けることが可能です。

遺伝分野)

遺伝医学診療は産婦人科各分野で横断的に必要とされ、技術の進歩に伴います重要性が増している分野です。以前より周産期や生殖医学では重要性が認知されていましたが、最近では癌ゲノムや遺伝性腫瘍でも需要が高まっています。附属病院では遺伝診療部と緊密に連携しながら遺伝診療を行っており、臨床遺伝専門医の指導のもとで研修を積むことが可能です。

付属病院，武蔵小杉病院，多摩永山病院，千葉北総病院のいずれかより研修を開始します。
診療ユニット内の複数の施設に勤務し、研修期間中に産婦人科学全領域を網羅します。
エキスパートによる丁寧な研修指導の下、ゆとりを持って産婦人科専門医試験に臨むことが出来ます。

産婦人科専門医取得後の研修について

産婦人科専門医取得後は、①総合的な臨床能力を向上させる、②サブスペシャリティーを確立し高度専門医取得を目指す、③ 研究活動（基礎・臨床）行う、といった方向性があり、個々の希望と資質に応じたバランスで研修を進めてまいります。研究活動は基礎医学教室と連携しており、大学院進学や海外留学についても積極的に対応しております。

当教室における専門医取得者数（2021.9 現在 常勤医師のみ）

産婦人科専門医	49人
日本生殖医学会生殖医療専門医	4人
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医	5人
日本内視鏡外科学会技術認定医	2人
日本周産期・新生児医学会母体・胎児専門医	14人
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	6人
日本がん治療認定医	8人
日本臨床細胞学会細胞診専門医	7人
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医	3人
超音波医学会 超音波専門医	1人
日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医	3人
不育症暫定認定医	1人

専門医育成プログラム（後期臨床研修）コース概要

コース	1-2 年次	3-4 年次	5 年次	6 年次以降
研修科目	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科, 大学院専攻
研修病院	日本医大付属 4 病院, 研修関連病院 (地域周産期センター, 連携型総合病院など)	日本医大付属 4 病院, 研修関連病院 (葛飾赤十字産院, 東京臨海病院), 麻酔・NICU 研修	日本医大付属 4 病院, 研修関連病院 (葛飾赤十字産院, 東京臨海病院, 神奈川県立がんセンター)	日本医大付属 4 病院, 研修関連病院 (葛飾赤十字産院, 東京臨海病院, 神奈川県立がんセンター) 基礎医学教室での研究
研修分野	周産期学, 婦人科腫瘍学, 内視鏡手術学, 生殖医学	周産期学, 婦人科腫瘍学, 内視鏡手術学, 生殖医学	周産期学, 婦人科腫瘍学, 内視鏡手術学, 生殖医学	周産期, 婦人科腫瘍学, 内視鏡手術, 生殖医学, 基礎医学 サブスペシャリティの確立
取得専門医資格		産婦人科専門医		日本生殖医学会生殖医療専門医 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 超音波医学会 超音波専門医 他

連絡先： 倉品隆平 病院講師・医局長

E-mail: kurashina@nms.ac.jp